



## 取材要項

—申請書を記入される前に、本要項を必ずご一読ください—

日 程: 2018年10月28日(日)

会 場: 郡山しんきん開成山プール  
〒963-8851 福島県郡山市開成 1-5-12

報道受付: 当日/9:00~  
《郡山しんきん開成山プール/1F 関係者入口》

2018年10月  
水泳の日 実行委員会



## 「水泳の日」とは

「水泳の日」とは、(公財)日本水泳連盟が2012年に発表した「ドリームプロジェクト2020」の柱のひとつである「スポーツによる社会貢献」としての活動です。

水泳競技のさらなる普及・発展、そして競技力向上、競技人口の裾野を広げるきっかけとなるとともに、海洋国家の日本において、国民全員が泳げ、水難事故を少なくしていくことにもつながってほしい。そういう思いを込めて、中断となっていた「国民皆泳の日」を、改めて「水泳の日」として制定しました。

水泳は「命を守ることができるスポーツ」です。もっと普及して、水泳に親しみを持ち、水を楽しむ人たちを増やし、全国民に泳ぎをマスターして欲しいと願っております。今後「水泳の日」が、生涯スポーツとしての普及、万人が見て楽しめるコンテンツ、水難事故対策など水泳文化構築のきっかけとなる様、様々な施策を推進していきます。

主催となる、(公財)日本水泳連盟、(一社)日本スイミングクラブ協会、(一社)日本マスターズ水泳協会、日本障がい者水泳協会が力を合わせ、長期的なスパンで「水泳の日」としてのイベントを開催していきます。

記念すべき第1回は2015年8月14日(金)、第2回は2016年8月14日(日)に東京辰巳国際水泳場で開催され、オリンピック・現役選手の協力の下、多くの参加者が来場し大盛況のイベントとなりました。今年度は郡山で4回目の「水泳の日」を開催いたします。

国民全員で水泳を楽しむ日として、メディア関係者の皆さんもぜひともご参加ください。

水泳の日 実行委員会



## イベント概要

- |         |   |
|---------|---|
| ■名称     | 水泳の日 2018・郡山  |
| ■英文呼称   | Swimming Day 2018・ KORIYAMA   |
| ■スローガン  | 水泳の日 泳いでつながる 笑顔の輪   |
| ■日時     | 2018年10月28日(日) 9:30~18:00(予定) ※9:00開場   |
| ■会場     | 福島県郡山市・郡山しんきん開成山プール<br>〒963-8851 郡山市開成一丁目5番12号  |
| ■主催     | 水泳の日 2018・郡山実行委員会<br><実行委員会構成団体><br>郡山市<br>公益財団法人日本水泳連盟<br>一般社団法人日本スイミングクラブ協会<br>一般社団法人日本マスターズ水泳協会<br>日本障がい者水泳協会  |
| ■主管     | 一般社団法人福島県水泳連盟   |
| ■後援     | スポーツ庁、公益財団法人日本体育協会、<br>公益財団法人日本オリンピック委員会  |
| ■特別協賛   | 東京海上日動火災保険株式会社  |
| ■協賛     | ミズノ株式会社／デザートジャパン株式会社／アシックスジャパン株式会社<br>セイコーホールディングス株式会社／エネオス／株式会社オーエンス<br>サンスター株式会社／GMOクリック証券株式会社<br>タキロンマテックス株式会社／株式会社ナガセ／株式会社ニチレイ<br>株式会社ブルボン／株式会社ヤクルト本社／株式会社レオパレス21 |
| ■内容     | 公開型イベントと参加型イベント   |
| ■入場料    | 無料  |
| ■ホームページ | <a href="http://swimmingday.com/">http://swimmingday.com/</a>   |
| ■参加人数   | のべ約 1,200 人   |



## 公開型イベント

### 09:30～ 開会式

主催者紹介・ご挨拶、始泳式、開会宣言

### オープニングアトラクション

郡山女子大学附属高等学校マーチングバンド部

### 10:00～ オープニングイベント

トゥリトネス デモンストレーション

### <エキシビション>

#### 10:30～ 水球

模範演技

解説 / 調整中

実演 / 棚村克行 飯田純士 曲山紫乃 細谷香奈 石山真吾 作田健太郎

#### 12:30～ 日本泳法

模範演技

解説 / 日本水泳連盟日本泳法委員会

実演 / 大分臼杵山内流「渡海」

#### 13:15～ 飛込

VTR 上映

解説 / 浅田雅子

#### 17:00～ アーティスティックスイミング ※フィナーレ内

模範演技

解説 / 井村雅代

実演 / 乾友紀子、吉田萌



参加型イベント／競泳イベント

<ばちやぼプール>

11:00～ 東京海上日動プレゼンツ ふれあいリレー 4×25mフリーリレー

オリンピックや日本代表チームと一緒に泳げるふれあいリレー。  
間近でオリンピックや日本代表の泳ぎを体感できるチャンスです！

11:40～ 東京海上日動プレゼンツ チャレンジリレー 4×50mフリーリレー

4人で50mずつ泳いで、ジュニアオリンピックの男子200m自由形大会  
記録(CS)1分45秒30にチャレンジしよう！ 上位チームは表彰もあります。

13:30～ ニチレイチャレンジ泳力検定会(1級～7級)

最近泳いでいないあなたもチャレンジ！  
全国統一の泳力基準である泳力検定に挑戦してみよう！



## 参加型イベント／水泳体験教室

### <にんて一君プール>

#### 11:00～ Mermaid レッスン(アーティスティックスイミング体験教室)

日本代表選手と一緒にアーティスティックスイミングを楽しみましょう！！  
アーティスティックスイミングの技に挑戦し、チーム演技の完成を目指します。

#### 14:00～ TOBIUO クリニック(水泳教室)①

オリンピック等によるスイムレッスン

スイムクリニック背泳ぎ「腕をまっすぐ！伸びのあるきれいな背泳ぎ！」  
スイムクリニックバタフライ「スムーズなキックと腕の掻きの正しいタイミング！」

#### 15:00～ TOBIUO クリニック(水泳教室)②

オリンピック等によるスイムレッスン

スイムクリニック自由形「きれいな泳ぎを維持するクロールのポイント！」  
スイムクリニック平泳ぎ「無駄な力を抜いて泳ごう！疲れ知らずの平泳ぎ」

#### 14:00～ 親子で楽しむ水泳教室①

#### 15:00～ 親子で楽しむ水泳教室②

泳げなくても大丈夫。水中宝探しゲームやウォーキングで親子で一緒に水に親しみましょう。  
最後は親子で一緒に 25mにチャレンジ！

#### 12:40～ アクアゲーム(水球体験教室)

アクアゲームで水の中でのボールゲームを楽しんでいただきます。  
シュート・パス等を日本代表選手より学びます。

### <ジャンボウプール>

#### 13:15～ SAMURAI スイミング(日本泳法体験教室)

海や川、自然の中で生まれ戦国時代に武術、芸術として完成した日本泳法は、実用として、また生涯スポーツとしても進化し続けている。  
500年の歴史、進化し続ける横泳ぎ・立ち泳ぎ・平泳ぎを学ぼう。

#### 15:45～ OWS クリニック(OWS体験教室)

オリンピックや日本代表選手とサバイバルスイムや立ち泳ぎなどの OWS 特有の技術に挑戦します。  
水難事故防止を目的に、日本ライフセービング協会講師より海や川などで自分の命を守るための技術を学びましょう。



## その他イベント

### <にんて一君プール端 2レーン>

#### 15:00～ ブラインドスイミング体験会

視覚を閉じた状態で25m完泳にチャレンジしてもらいます。

技術だけでなく、「音」と「声」のコミュニケーションが重要です。

#### 14:00～ 水中動画撮影会①

#### 16:00～ 水中動画撮影会②

科学委員会主催による水中動画撮影会。1時間で15人の撮影を行い、USBにて配布。



## 報道取材に関するお願い

本大会開催にあたり、報道関係の皆様にご取材頂くために、下記の要領にて取材・報道体制を整えています。ご一読の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。尚、取材に関しては、あくまでもスポーツ報道としての取材を対象としていますので、スポーツ報道以外の目的での取材に関してはお断りさせていただきます。また、会場内での取材活動については、当日の関係者の指示並びに下記の要項に著しく逸脱した場合は、取材をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

### ■ 取材申請の方法について

- \* 取材を希望される報道関係者は、別添の「取材申請書」により **10月24日(水)**までに、貴社名・部署名(媒体名)・取材者氏名および連絡先を報道事務局までファックス(03-5467-3483)にてお申し込みください。当日会場での申し込み及び電話による申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承ください。
- \* 申請が許可されました方は、公印を押印した取材申請書をFAXにて返信致しますので、取材当日受付にてご提示ください。申請者が同時に入場できない場合は、各自コピーを持参してください。人数調整が必要な場合及び取材をお断りする場合は、報道事務局よりご連絡いたします。
- \* フリーランスの方は掲載媒体の責任者の了解を取ってください。申請書提出の際に必要になります。

### ■ ADカード・ビブスの受け渡しについて

- \* プレス用のADカードなしでは会場に入場できません。ADカード・ビブスは、**10月28日(日)9:00**より、会場内の報道受付にてお渡しいたします。取材許可印(公印)入りの取材申請書と名刺2枚をご持参ください。
- \* フォトグラファーの方はビブスを着用していない場合、撮影取材ができません。スペースの都合上、三脚での撮影はお断りさせていただきます。(一脚可)  
また、スペースの都合上、ビブスの発行を制限させていただく場合があります。
- \* 終了後、ADカード・ビブスは返却していただきます。

### ■ ENG取材について

- \* 各系列局2クルー取材可能です。
- \* 会場でのENGカメラ(放送を目的としたデジタルカメラを含む)取材エリアはミックスゾーンと2ヶ所のENGエリアのみとなります。
- \* カメラ台数は、それぞれの場所で各系列1台(民生用デジタルカメラ含む)までとなります。

### ■ プールサイド記者席について

- \* プールサイドに記者席を設けております。
- \* 利用可能時間は、**9:00~18:00**までとなります。時間厳守をお願いいたします。

### ■ 取材エリアについて

- \* 記者の方: ミックスゾーン、記者席
- \* スチールカメラの方: スタンドスチールカメラエリア
- \* ENG取材の方: ミックスゾーン、スタンドENGエリア(2カ所)



- インタビューについて
  - \* オリンピアン・参加者へのインタビューは、ミックスゾーンにてご対応願います。
  - \* 尚、本イベントに関わらない取材については、本申請では承認できません。
  
- 写真、映像など撮影素材について
  - \* 本大会で撮影された写真、映像などを、事前に申請された媒体以外で許可なく使用された場合、今後の取材をご遠慮いただくことがあります。本大会で撮影された写真を掲載する際には、必ず撮影者の氏名を明記して下さい。本大会で撮影された写真を掲載された雑誌は、必ず報道事務局へご提出ください。
  
- その他
  - \* プールアリーナ内は土足禁止となっております。シューズカバー、サンダル等の上履きをご用意ください。
  - \* 実行委員会が定めた要項に反した場合は、今後、日本水泳連盟主催・主管・後援大会への取材をお断りする場合があります。
  
- 備考
  - \* インターネットメディア単体での取材申請は、原則として受け付けておりません。
  - \* インターネットについては、報道機関が発行する新聞・定期刊行物のほか、スポーツニュース協会加盟社及びニュース番組で、それを補完するためのホームページ(無料による情報提供に限る)は静止画像の掲載が可能です。但し、上記報道機関においては、取材申請の許可は主たる媒体に対して行うもので、インターネット単体での申請はお受けしておりません。
  - \* インターネットに掲載した情報は無償で閲覧できることを大前提としており、有償での掲載はお断りします。
  - \* 日本水泳連盟の権益を侵したり、特定の個人を誹謗・中傷するなど、水泳界にとって不利益にあたる活動を行った場合は、対応策を検討する場合がございます。
  - \* フリーランスの方は、掲載媒体名・掲載日・掲載内容を必ず明記して取材申請書を提出お願いします。
  - \* 協賛各社は報道とは別扱いとなります。詳細は実行委員会事務局(TEL: 03-6257-1948)までお問合せください。

<取材申請・報道に関するお問い合わせ先>

報道事務局

TEL 03-5467-3379 / FAX 03-5467-3483

<大会に関するお問い合わせ先>

水泳の日 実行委員会事務局

TEL 03-6257-1948



申し込み先 報道事務局 FAX:03-5467-3483

水泳の日 2018  
取材・撮影事前申請書

(公財)日本水泳連盟 御中

平成 30 年 10 月 日

申請会社名			
住 所	〒		
連絡責任者	(申請書送付先)		
電話番号		FAX 番号	
日 時	2018 年 10 月 28 日(日) 9:00 開場		
	申請者名	区分 ※該当区分に○印をお付け下さい。	
1		記者 ・ スチールカメラ ・ ENG	
2		記者 ・ スチールカメラ ・ ENG	
3		記者 ・ スチールカメラ ・ ENG	
4		記者 ・ スチールカメラ ・ ENG	
5		記者 ・ スチールカメラ ・ ENG	

※1 枚に書き込めない場合はコピーしてご利用下さい。

その他の媒体・フリーランスの方は下欄にもご記入下さい。

出版社名	掲載媒体
編集長名 印	掲載日
掲載内容	

◇取材・撮影許可証◇

大会実行委員会記入欄

上記申請者の取材・撮影を許可いたします。 日付 平成 30 年 10 月 日

公印なきものは無効です。

競技会会場に入場の際に、本状と名刺 2 枚をお持ち下さい。  
申請者が同時に入場できない場合、各自コピーを持参して下さい。

**平成 30 年 10 月 24 日(水)必着**